

企業研究

学生×経営者



2

菊正宗酒造(神戸市東灘区)

嘉納治郎右衛門社長(45)

清酒販売 需要層開拓が課題

●清酒「百黙」を手に話す嘉納治郎右衛門社長
●いずれも神戸市東灘区御影本町1、菊正宗酒造
●菊正宗酒造が醸造・販売する商品群



プラスに働き、紙パック酒などは順調に推移した」
―清酒以外の事業にも力を入れている。

「美容と健康の分野で新たなチャレンジを始めている。とりわけ、約10年前に参入した化粧品分野は、ようやく会社の収益に貢献するようになってきた。現在では売り上げの1割を占め、顧客からは『使い心地が良い』といった評価を得ている」

―今後の課題は。

「清酒の販売では、新しい需要層をどう開拓していくのかが大きなテーマだ。日本酒になじみのない女性や若い世代が飲みやすい酒の開発などを進めている。化粧品事業でも、将来は清酒の顧客となり得る10代や20代の若い世代への販路開拓を目指している」



エムラボ

―コロナ禍の影響は。

「飲食店に販売する業務用の売り上げが大幅に落ち

国約30%が生産される酒どころ。特に当社は辛口の酒を昔から売りにしてきた」

―コロナ禍の影響は。

「飲食店に販売する業務用の売り上げが大幅に落ち

国約30%が生産される酒どころ。特に当社は辛口の酒を昔から売りにしてきた」

―コロナ禍の影響は。

「飲食店に販売する業務用の売り上げが大幅に落ち

国約30%が生産される酒どころ。特に当社は辛口の酒を昔から売りにしてきた」

―コロナ禍の影響は。

「飲食店に販売する業務用の売り上げが大幅に落ち

国約30%が生産される酒どころ。特に当社は辛口の酒を昔から売りにしてきた」

―コロナ禍の影響は。

「飲食店に販売する業務用の売り上げが大幅に落ち

国約30%が生産される酒どころ。特に当社は辛口の酒を昔から売りにしてきた」

―コロナ禍の影響は。

「飲食店に販売する業務用の売り上げが大幅に落ち

国約30%が生産される酒どころ。特に当社は辛口の酒を昔から売りにしてきた」

―コロナ禍の影響は。

「飲食店に販売する業務用の売り上げが大幅に落ち

国約30%が生産される酒どころ。特に当社は辛口の酒を昔から売りにしてきた」

―コロナ禍の影響は。

「飲食店に販売する業務用の売り上げが大幅に落ち

●御影で創業。社員数は約240人。2020年3月期の売上高は99億5千万円。20年春の採用は2人、21年春の採用は5人を予定。神戸市東灘区御影本町1の7の15。☎078・8510001

(まとめ・中村有沙)